

実践研究福井ラウンドテーブル 2025 Spring Sessions

Keynote Session 教職大学院改革特別フォーラム

2025 年 2 月 22 日 (土) 8:40-11:00

オンライン (Zoom 使用)

「新たな教師の学び」を支える協働のために

新たな学びへの多様な企図を支える

教育改革の広範な展開を支える行政・メディア・大学の役割とその協働の可能性を探る

探究する学びへの実践と展望をより広く共有するために
行政・メディア・大学が果たす新たな役割とその協働の可能性を探ります。

転換を続けるグローバル化した社会の中、所与の知識の伝達・習得を中心とした学習から、流動状況の中で探究・省察し協働実践する力を培う学習への大きな転換が求められ、さまざまな学校・地域において、新たな学びへの挑戦が始まっています。

しかし、そうした先駆的な企図を結び、より多くの、そして大多数の人々と共有し、広範な支持のもとに実現していくための取り組みはまだ始まったばかりです。今回のフォーラムでは、新たな学びへの企図を支える福井県・福井新聞・教育新聞・福井大学の取り組みを共有しつつ、それぞれの取り組みを結び、より広い支援のための協働の可能性を探りたいと思います。

福井県では、学校における「子どもたちの主体的で協働的な学び」・「探究学習」を支え、「子どもが主役」の教育を実現するための施策を積み重ね、今後に向けてさらに発展させていくアクションプランを策定しつつあります。

福井新聞では 2022 年春より、福井の学校で進められている新たな学びへの多様な挑戦を追い、毎週日曜日付で見開き 2 面を学校教育面として掲載しています。県内の小中学校・高校・幼稚園・特別支援学校、そして大学と広範囲にわたり、学校の変革への試みや実践事例、子どもたちの学びの内容を広範な読者と共有する、開かれた学びのひろばとなっています。

教育新聞は、教育の専門紙として「教育ジャーナリズム」を掲げ、教育改革をめぐる政策や取り組み、世界の教育の動きを広く探り、教育に関わる読者と共有する役割を長年にわたって担ってきています。「教育を変えるファクトがある」「教育現場と社会つなぐ国内最大級の教育ニュースメディア」「対話と共感が生まれる瞬間」。そのメッセージには、教育改革のための開かれた共有の場を開こうとする、この新聞の姿勢が示されています。

福井大学教職大学院・総合教職開発本部は、教員養成フラッグシップ大学として、学校・教育委員会・教職員支援機構と結びつつ、探究する学びの実現とそれを支える教師の実践的な力量形成のためのカリキュラム開発を進めるとともに、その広範な展開を支えるネットワークづくりという課題に取り組んでいます。

新たな学びの多様な企図を結び支えるそれぞれの取り組みと蓄積に耳を傾けながら、今後、より広い支援のフレームを協働して創っていくための取り組み、その課題を見定めていきたいと思っています。

登壇者 (予定)

福井県教育長 藤丸 伸和

福井新聞 局長待遇 みんなの新聞推進室長 菊野 昭彦

教育新聞 編集長 小木曾 浩介

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 木村 優

他